

2023年8月

第155号

ぱれっと



㈱北日本ベストサポート

TEL 018-883-1888

## 秋田県の水害事故

秋田県では7月14日正午から16日午前6時まで秋田市380.5ミリ、藤里町319ミリ、男鹿市256ミリ等観測史上最大の降雨量を記録した。

各地で避難指示等が出され県内全域が騒然となる事態となった。特に秋田は災害が少ないと言われていただけに、油断したわけでもなかったが、大きな災害には至らないだろうと思う向きが多かったと思う。

確かに雨量が多いと言われていたが、秋田市でこれまで経験した雨量に比べて特に多いとの印象は抱かなかった。しかし、秋田市の東部に位置する太平山には先述した時間帯で400ミリを越える雨量を記録し、それが一気に太平川や旭川その他の河川に流れ込み秋田市内に流れこむ事態となった。

太平川はみるみるうちに増水し「広面1号橋」は橋の欄干を超えて水が流れるようになり、その模様がテレビで何度も放映された。また、行き場を失った水がマンホールから吹き出し「内水氾濫」と呼ばれる都市型水害の現象が追い打ちをかけた。そのため、桜大橋が冠水、明田地下道が天井まで水浸しとなりそれが南通りに流れ「中通り病院」などその付近一帯が床上浸水となった。また、中通りの旭川に隣接する歩道が崩落、国道7号線でも土砂崩れが発生したほか、秋田中央道もトンネル内が冠水し通行再開が8月に入ってしまう見込みとなっている。五城目町では車に取り残された男性が水死するという事故も発生している。さらに、県のまとめでは土木被害が52億円超、農業被害が49億円超に達すると見込まれている。

損害保険会社の7月24日現在の住宅・車両の事故受付状況は住宅の床上浸水・床下浸水合わせて2700件、車両の水害は2300件となっており、今後調査が進むと、土木・農業・家屋・車両等の事故件数・被害・損害金額はさらに増加するものと思われる。

災害は忘れた頃にやってくる。と、古くから言われているが、最近の気象状況は過去に比べると明らかに温暖化へシフトしているように思う。海水温度が上昇することによって雨量等にも変化をもたらすと言われている。

秋田では台風も来ないし、津波も少ない、災害の少ない県だとのイメージがあるが、気候温暖化がどのように進むのか、北極や南極の氷山も極度に減少していると言われている。数十年前に比べると明らかに降雪量も減少している。温暖化が着実に進んでいる証ではないか。そういう自然現象が私たちに今後どんな暮らしを要求してくるのか注意深く見守ると同時に油断大敵、様々な状況にも対処できるように対策を講じておきたい。

## 夢を食う

夢を食うとは、ただ大言壮語したり、夢に酔ったりすることではなく、日々の現実に対し、夢を食うにふさわしいだけの燃える情熱とたくましい努力とがなければならぬ。

真に夢をもてば、そうした情熱とか努力とかは、第三者が見れば苦しそうでも、本人にはむしろ毎日の楽しみで、それは快い疲労と安眠をもたらす。

おそらく、この人生では、夢を食って生きるほど楽しいことはないのではなかろうか。

## すべてが不思議

心を静めて周囲を見渡せば、われわれは天地の恵み、宇宙の情けの中に生きているようなものである。けさ無事に目がさめたことも、ただいま無事に呼吸できることも、考えてみればまことにありがたいことである。

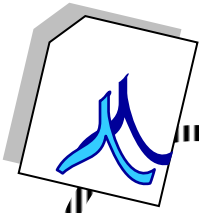
こんなことはあまりにありふれたことで、だれしもありがたくも不思議にも思わぬが、それは今日なお最高の科学をもってしても解明しえないほどの不思議を含んでいるのである。

## 栄光につらなる道

生物にはもともと少々の変化にへこたれず、これに耐え得る力が与えられているのである。

ことに人間には人間独特の精神生活があり、これこそが真に人間を人間たらしめているものであり、特にうれしいことには、人間にはだれにでも、一般に考えられているよりはるかにすばらしい多くの可能性が与えられて、不屈の努力によってその開発を待っているのである。

もし若人が自己との挑戦においてあくまで屈せず、燃える情熱で断固その目的に進む時、必ずそこには栄光につらなる道がある。



## 幣原 喜重郎 (日本の政治家・外交官)

- 1872年(明治5年8月11日) 現大阪府門真市の豪農の家に生まれる。  
1895年(明治28年) 東京帝国大学法学部卒業、農商務省入省。  
1896年(明治29年) 外交官試験に合格し外務省に転じた。  
1915年(大正4年) 外務次官となる。  
1919年(大正8年) 駐米大使。第1次世界大戦後の軍縮会議で全権委員を務める。  
1924年(大正13年) 外務大臣となり、4回外相を務めた。  
1920年代の自由主義体制における国際協調路線は「幣原外交」と称された。  
1930年(昭和5年) ロンドン海軍軍縮条約を締結させると、軍部から「軟弱外交」と避難された。  
濱口雄幸総理が銃撃による負傷療養中、総理大臣臨時代理を116日間務めた。  
1945年10月9日 戦後、内閣総理大臣に就任。新英米派として独自のパイプを用いて活躍した。  
1947年(昭和22年) 内閣総理大臣経験者で、初の衆議院議長に就任。  
1951年(昭和26年3月10日) 議長在任中心筋梗塞で死去。享年78歳。  
葬儀は衆議院葬として執り行われた。

位階  
勲章等

従一位  
男爵・勲一等旭日大綬章  
旭日桐花大綬章



### おすすめの BOOK

#### 「藩邸差配役日日控」

作者 砂原 浩太郎 出版者 文藝春秋

作者は1969年生まれ。直木賞候補となったほか、本屋が選ぶ時代小説大賞を受賞した。

本書は歴史時代小説で連作短編集だ。神宮寺藩7万石の江戸藩邸の差配役里村五郎兵衛の日常業務の遂行に当たっての物語だ。差配役とは通常会社では総務部みたいなセクションで、様々な出来事の処理をしなければならない。簡単に言えばお殿様の世話から、障子の張替えまで行うという「何でも屋」と呼ばれている。その日常の出来事の中での五郎兵衛の活躍の姿が真面目で一生懸命で、それでいて微笑ましい日常が描かれている。意外性もあり面白い小説だ。



## 令和5年7月14日からの大雨被害に 便乗した悪質商法にご注意ください！

大雨などの災害時には、それに便乗した悪質商法が発生するおそれがあります。

突然訪問してきた業者に契約を急かされても、その場では決めず、慎重に検討しましょう。

(例えば)

- 点検などを口実に訪問し、高額な修理等の契約を勧誘する。
- 「使えなくなった家財道具を回収してあげる」などと言って訪問し、トラックに積み込んだ後で高額な費用を請求する。
- 「災害による被害以外の箇所であっても保険で無料修理できる」と勧誘する。
- 行政機関の職員を名乗る者が家を訪問し、義援金を求める。



(消費者庁イラスト集より)

大雨の被害を受けた地域に、不審な業者が出没しているという情報が県に寄せられていますので、ご注意ください。

- 「行政機関からの依頼を受けて床下の消毒をしている」という業者が、被災した地域をまわっている。
- 不審な業者が、「災害廃棄物を回収する」などと言って被災した地域をまわっている。

困ったときは消費生活センター等にご相談ください。

- 消費者ホットライン (最寄りの相談窓口につながります)

(局番なし) **188**

- 秋田県生活センター **018-835-0999**

(受付時間 平日9:00~17:00)

### 【編集後記】

秋田では水害事故の処理でボランティアを含め通常の生活を一日も早く取り戻すため連日、汗だくで頑張っている。

7月25日、東京有明アリーナで世界ボクシング評議会(WBC)世界ボクシング機構(WBO)スーパーバンタム級タイトルマッチ12回戦が行われ、井上尚弥選手が王者のアメリカのステイブ・フルトン選手を8回にTKOで破り、世界4回級制覇を成し遂げた。井上選手はプロ入りして25戦全勝(22KO)という素晴らしい記録を持ち「モンスター」(怪物)の異名で知られている。明るいニュースとして話題としたい。